

# ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術後の尿失禁量を、 QRコードを活用したweb入力で把握する試み

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

## 研究の目的と方法

ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術の術後は、尿失禁が生じることがあります。技術進歩と共に減少してきていますが、正確な量を退院後に把握することは難しいとされています。そこで、当院ではwebフォームを構築し、2023年12月より退院後の尿失禁量調査を開始しました。この研究では、web調査開始後の状況を調査することを目的として実施します。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

## 研究の対象となる方

2023年12月～2024年5月にRARPを施行した全ての患者

## 使用する試料・情報

患者背景、退院後のweb調査項目（退院後3日間、1週間後、2週間後、3週間後、4週間後の1日間の飲水量、尿量、尿失禁量）

使用開始予定日：2024年10月7日

## 研究予定期間

2024年10月7日～2024年10月31日

## 個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 泌尿器科 三上 洋

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

## 研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 泌尿器科 三上 洋

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)